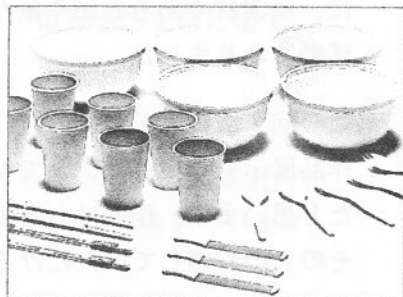


リレー記事 No. 26

## 紙の粉が地球を救う!?

「紙の粉が地球を救う!」というタイトルに引かれ、「回収されない古紙」から作られる「マプカ」製品の技術や製品紹介のテレビ番組を見ました。紹介された製品は、くし・クリップ・容器・箸・ボタン・印鑑・靴べら・ペーパーナイフ・換気扇用紙フィルターなど、多種多様な馴染みの日用品がたくさん。思わず見入ってしまいました。



「回収されない古紙」とは、回収ルートから外れた紙で、その多くは、紙製品を製造するメーカーや印刷会社からの裁断屑、シュレッダーの切り屑など、本来は産業廃棄物として、燃えるごみとして処分されているものです。「マプカ」とは、古紙パウダーとポリオー術の確立により生まれた形成材料で、特徴は古紙を51%以上含有したりサイクル法に基づく紙製品です。使用後は紙ごみと同じ『可燃物』として捨てられ、焼却してもダイオキシン及び有害なガスはでないという利点があるそうです。

マプカ製品の物性データによると、

**耐久性：**長時間水につけても変形がない。

**燃焼性：**良く燃え、有害ガスの発生がない。

**耐熱性：**最も熱に強い、電子レンジ可能(130℃)、食洗機OK!



従来プラスチックを使って作られていた物を、回収されない古紙を原料にして作るところに興味を持ち、早速会社へ問い合わせをしました。

今のところ、販売は東京の代理店・百貨店のみで、くしはホテルでの使用が始まっているということでした。換気扇フィルターは、あるハウスメーカーが取り扱いしてインターネットでも販売はしているものの、今のところ、目新しいからか価格は超お高でした。しかし、「大量生産をしているので百貨とまではいなくても、国産商品と代わらない価格になるでしょう」と担当の方からは嬉しい予測が聞けました。新しいアイデアや技術は日進月歩。このマプカ製品も早く一般に出回り、気軽に利用できるようになることを待ち望んでいます。

## エコステだより

「手芸好きのリメイク展」開催中

展示室では、開発グループ足かけ3年の集大成、

### 「手芸好きのリメイク展」～来て!見て!やってみて!!～

を開催中です。「開発グループ」は登録ボランティアさんの自主的な定例活動です。現在は、廃素材である衣類や紙などを使ってその持ち味を生かす、リメイク作品づくりが主な活動になりました。

今回、広い展示室いっぱい、メンバー自身が作品展示をしました。とてもよい仕上がりになったと思います。作品はもとより、彼女たちの活動そのものも感じていただけるとうれしいです。

今回の副題にもあります、「やってみて!!」が、ご覧くださった皆さんの心に響きますように。



▲ 3月29日(土)まで開催

## 三井物産環境基金助成団体交流会報告



昨年7月、エコけんは「三井物産環境基金」の助成金を受けることが決まりました。

### 事業案件



「しろくまくんをすくえ!すごろく」と「ショップしろくま」という省エネ学習の補助ツール作成。また、それを小学校に取り入れるためのシステム作り。

2月21～22日、新旧助成団体交流会が東京の三井物産本社で開催され、担当者1名が参加しました。

#### 【1日目】前年度助成団体事業報告 懇親会

不得手な自然環境保全系の団体が多く、多方向からの話を聞くことができました。

#### 【2日目】「環境系NPOの事業持続可能性をたかめるために」講演会

これからの「エコけん」のあり方を考えるという点でとても参考になりました。

NPOは、似たような課題を抱えています。それをどのように乗り越え、自分たちらしさを打ち出していくのか、これからは正念場だなあと気持ちを新たにしました。

※ 来年は、事業報告発表になります。



① 関心のある環境問題はなんですか？

地球温暖化

② 実践しているエコ行動があれば教えてください

- ・ 毎日がノーマイカーデー 通勤は徒歩です(約20分)
- ・ 役場の冷暖房温度設定
- ・ 電灯をこまめに消す
- ・ 定時退庁

③ おすすめのエコ行動

廃油をバイオ燃料として再利用するための試行が新宮町の企業でなされています。企業の取り組みに期待しています。

MYエコ宣言

廃油を大切に再利用しましょう

緑の松林にかこまれた静かな庁舎での30分間はとても楽しくすぎました。きれいな海が作り出す真珠の養殖事業は、新宮町のみならず福岡県の産業として大きく成功して欲しいと思います。そのためにも海の自然環境を大切に守っていかなければと痛感しました。

バイオ燃料の話も希望のもてる話題としてとても印象に残りました。私たちも試行を見守りたいと思います。

次回は宗像市長 谷井 博美 氏です。



新宮町内のエコトピック

新宮町内には、農林水産省創設の「バイオ燃料地域利用モデル実証事業」の5実施地区のひとつとして、支援を受ける取り組みがあります。その事業では、西田商運(株)が事業実施主体となり、それは廃食用油を原料に、バイオディーゼル燃料を製造するのだそうです。

バイオディーゼル燃料は、サラダオイルなど使用済みの食用油を再生したディーゼルエンジンの為の燃料で、車や船、発電機でも、ディーゼルエンジンで動く機械なら、改造する必要なくそのままタンクに注ぎ込んで使うことができるそうです。

事務局より

- 3/7(金) 10:30~14:30「ファン・ファン エコロ ～来たれ! 学びすと～」開催します。メインイベントはMY企画コンクールです。ご参加お待ちしております。

# 活動報告

～1月～

日	自主活動	エコロの森ステーション活動
4		仕事はじめ
7		全体運営会議 教室会議 ポラ育成会議 展示会議
9		エコOWS準備会 ポラ育成会議
10		エコOWS準備会 館外教室打合会議 開発活動
11		エコOWS準備会
15		エコOWS
16	マイコ宣言の夕べ ニュースター33号配信 しらほ会議	
17	NPOセミナー参加	ボラ会(かえっこショップ)
18	福津市養成講座講師	
20		館外教室(福津市うみがめ課)
22		エコOWs準備会 エコロなウォッシュアップ準備会
23		エコロなウォッシュアップ 1F季節展示更新
24		エコロ環境教室(議員視察)
25		館外教室(古賀市健康づくり課) MY企画 ほちやっど56号発行
26	エコけんニュース102号発行	かえっこショップ
27		館外教室(古賀市人権センター)
29		MY企画 ボラ会(エコエコクッキング)
30		エコエコクッキング(託児付き) 館外教室(古賀東小)
31		エコロ環境教室(議員視察) かえっこショップ

## 今月のトピックス!

今月は、2回のイベント展示を含む、3回の館外教室に加え、新たな地元アーティスト掘り起こしや、インタビューなど、対外的な活動も精力的に取り組みました。小さな話題から芋づる式にご紹介いただき、楽しい毎日でした。



# 思いを形に

特定非営利活動法人

# NPOエコけん

連絡先 〒811-3121 古賀市筵内 1970-1 玄界環境組合古賀清掃工場 再生・展示棟

TEL/FAX 092-944-3012 MAIL ADDRESS eco\_ecoken@ybb.ne.jp HP ADDRESS <http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/>